



ニュース

2024年

2

月号

発行日： 2024年 1月 28日
 発行者： カトリック横須賀三笠教会
 TEL： 046-823-0042
 FAX： 046-823-1031
 e-mail mikasa-church@aqua.ocn.ne.jp

みづか いの ちから そだ いの
 自ら祈る力を育てる～祈りとは

みかさきょうかい しゆにんしさい はまさきまさみ
 三笠教会 主任司祭 浜崎眞実

ことし としあ そうそうの とほんとう じしん お おお ししゃ ゆくえふめいしゃ で い のこ ひと
 今年は年明け早々能登半島で地震が起き、多くの死者と行方不明者が出て、生き残った人
 ひなんせいかつ つづ ひさいち ほうどう せつ こころ いた なに こうどう お
 たちも避難生活が続いています。被災地の報道に接して心を痛め何か行動を起こしたいと
 おも なに じょうたい かた ころなか
 思っても、何をすればいいのかわからない状態にある方もおられることでしょう。コロナ禍に
 ろしあ うくらい なしんこう きよねん がざ いすらえる こうげき
 あってもロシアのウクライナ侵攻がありました。去年はガザへのイスラエルによる攻撃
 じえのさいど さき み なか とど えいぞう め むね
 (ジェノサイド)がありました。どちらも先が見えない中で、届けられる映像を目にして胸を
 いた ひと じょうきょう いの たいせつ じかく
 痛めている人もおられます。そのような状況でも祈りでつながることは大切なことと自覚し
 きかい いの りかい う と かた ふ かえ
 ておられることでしょう。この機会に祈りについての理解や受け止め方を振り返ってみてはど
 おも ま わたし いの かんが あき
 うかと思えます。先ず、私たちがとらえている「祈り」についての考えを明らかにしてみましょ
 う。
 いの ぶん かしょ はい おも
 「祈りとは(A)であって、(B)ではない」という文の(A)と(B)の箇所に入ることばを思いつくま
 ただ かんが か だ
 まに(正しいかどうかなどを考えずに)書き出してみてください。

いの
 祈りとは、(A) であって、 (B) ではない。

<p>れい かみ たいわ 例)神との対話</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 	<p>ひと こと 独り言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
---	---

あと つぎ しょうかい ほくし きじ よ
その後で次に紹介するある牧師の記事を読んでみてください。

きょうかい たんにんきょうし とき わんがんせんそう おお きりすとしゃ
NG教会の担任教師をしていた時、湾岸戦争があった。多くのキリスト者たちが
きょうかい あつ きとうかい おこな もの せんそう と くだ
NG教会に集まって祈祷会を行った。ほとんどの者が「戦争を止めて下さい」
ぎせいしゃ だ くだ いの つづ なか こ しんが いの
「犠牲者を出さないで下さい」と祈り続ける中で、故 R・S神父の祈りだけは
ちが おも せんそう と わたし つみ
違った。「主よ、この戦争を止めることができなかった私の罪をおゆるしてください
はげ なぐ しょうげき せんそう しゅたいてき う と いの
い」。激しく殴られるほどの衝撃だった。戦争をこれほど主体的に受け止めた祈り
き
を聞いたことがなかった。
しんが はけんさき じ こ ねん な
※S神父は派遣先で事故のため 2003年に亡くなりました。

にちじょう できごと う と いの ないよう こと
日常の出来事をどのように受け止めるのかによって、祈りの内容は異なってくるということ
でしょう。

み やんまー ぐんじせいけん だんあつ ひと しえん さくねんこうえん き ほくし
ミャンマーの軍事政権で弾圧されている人たちの支援で、昨年講演にも来ていただいた牧師
わたなべ つぎ あーめんあくしょん と く ていき
の渡邊さゆりさんからは次のような「アーメンアクション」という取り組みが提起されていま
まじめ ふまじめ しせい おも
す。「真面目に不真面目をやっいてこう」との姿勢がいいなと思います。

あーめんあくしょん
アーメンアクションとは
あーめん いの さいご きりすとしゃ かなら い ことば さんどう
「アーメン」祈りの最後に、キリスト者は必ずこう言います。この言葉は「賛同します」
とお せつめい どうじ しんじつ い いみ いちばん
「その通り」と説明されてきました。同時に「真実」と言う意味があります。一番
ちい いの ことば あーめん しんじつ わたし おも どの
小さな祈りの言葉です。アーメン。～そこに真実がありますように。私の思い通り
けんりよくしゃ おも どの きゆうきよく いの
でなく、また権力者たちの思い通りでもなく～これは究極の祈りです。
おさな ころ わたし きりすとしょうかい い あーめん
幼い頃、私は、キリスト教会に行っていることを「アーメン、そうめん、ひやそう
じぶん い
めん」とからかわれたり、自分でもふざけて言っていました。
ねん がつ にち にゆうかんほう かいあく なんみん いみん たい さべつてき せいど
2023年6月9日に入管法が改悪され、そもそも難民・移民に対する差別的な制度
わる げんじょう ちよくめん ことば つ いの
が、さらに悪くされました。この現状に直面し、言葉を尽くして祈りなんとかした
おも おも くや なさ とき わたし
いという思いがいっぱいです。どうしようもない悔しさと情けなさ、この時に、私
ばか あーめん いの つづ おも
はあえて、馬鹿にされたり、からかわれたりした「アーメン」で祈り続けたいと思って
じっさい らーめん めんるい た あーめん
います。実際にラーメンをはじめとする麺類を食べるたびに、「アーメン」

あーめん い なんみん いみん まも ききん くわ ききん
「アーメン」と言い、難民・移民のなかまのいのちを守る基金に加われば、この基金
いの ささ
は祈りによって支えられます。
まじめ ふまじめ きりすときょうかい はじ ききん
真面目に不真面目をやっていこう～キリスト教会から始まったいのちの基金が、
いの あかし おも こ あーめん あくしょん
祈りの証になりますように～そんな思いを込めて、アーメンアクションを
はじ あーめん
始めました。ぜひアーメンを。(わ)

ねん がつ よてい
2024年2月の予定

ねん がつ にち にち おこな きょうかいいんかい ほうこく
2024年1月7日(日)に行われた教会委員会の報告です。

てんれいれき ぎょうじ かつどう
<典 礼 暦 と 行 事 ・ 活 動 >

ふくいんせんきょうぶかい
2月 3日(土)福音宣 教 部 会

ねんかんだい しゅじつ
4日(日)年間第5主日
きょうかいいんかい てんれいぶかい
教 会 委 員 会、典 礼 部 会

だい かい きち まちよこすか かんが つど
10日(土)13:00 第3回「基地の街ヨコスカを 考 える 集い」

ねんかんだい しゅじつ せかいびょうしゃ ひ
11日(日)年間第6主日(世界病 者 の 日)
きょうかいいんかいほうこくかい
教 会 委 員 会 報 告 会

はい すいようび
14日(水)9:15 灰の水曜日

しじゅんせつだい しゅじつ
18日(日)四 旬 節 第1主日
まな こうぎ きゅうやくぜんしよ よ はまさきし
11:00学びなおし講座「旧 約 全 書 を 読 む」浜崎師
きょうかいがっこう
教 会 学 校

しじゅんせつだい しゅじつ
25日(日)四 旬 節 第2主日
まる こふくいんしよ よ ふくいんせんきょうぶかい
9:00「マルコ福音書を読む」福音宣 教 部 会

えいごみさ
15:00 英語ミサ

が づ にち にち み さ ご きょうかいいんかいほうこくかい おこな ねんど そうかつてき ふ かえ
※2月11日(日)ミサ後、教 会 委 員 会 報 告 会 を 行 い ます。2023年度の総括的な振り返
こんねんど おも よてい しんいん しょうかい いた みな せいどう あつ
りと今年度の主な予定、新委員の紹 介 を 致 しますので、皆 さん 聖 堂 に お 集 ま り くだ さい。

さくねん が づ にゅうもんこうぎ べんきょう つづ にゅうしんしがんしゃ かたがた ふっかつてつやさい
※昨年1月から入 門 講 座 で 勉 強 を 続 け て きた 入 信 志 願 者 の 方 々 が、復 活 徹 夜 祭
が づ にち み さ せんれい う みなさま いの
(3月30日)のミサで洗 礼 を 受 け ら れ ます。皆 様 お 祈 り くだ さい。

くりすます ふ かえ

クリスマス을振り返って

さこう
酒匂 みづほ

さくねん くりすます かよる がいこくせき ひとひと とも ささき みさ いわ にほんじん
 昨年のクリスマスは、24日夜の「外国籍の人々と共に捧げるミサ」で祝われ、日本人、
 ふいりびんじん た がいこくせき かた なんにん つど にほんご えいごりょうほう しょう みさ
 フィリピン人、また他の外国籍の方も何人が集いました。日本語、英語両方を使用したミサ
 とく へいさい うた すべいんご ぼこく くりすます うた
 でしたが、特に閉祭で歌われたスペイン語の“Feliz Navidad”は、母国でクリスマスに歌わ
 ゆうめい うた こみゆにていー せいかたい おど だ も あ しゅ
 れる有名な歌で、コミュニティーの聖歌隊は踊り出しそうなほど盛り上がっていました。主の
 こうたん よろこ わたし つた おおつきょうかい こ にほんじんしんと かた
 ご降誕の喜びが私にも伝わってきました。大津教会から来られた日本人信徒の方は、ま
 がいこく あずか みさ さんか はな
 るで外国で与るミサに参加したようだと話していました。

よる みさ まえ たいこうせつだい しゅじつ みさ ばーていー おこな
 夜のミサの前には、待降節第4主日のミサがあり、そのあとパーティーは行われました。
 せいかたい ごうどう がっしょう はじ しゅうかいしつ てーぶる ぷちけーき
 聖歌隊とYMFC合同の“I believe”の合唱で始まり、集会室のテーブルにはプチケーキ
 めん ばーてづく はるま さい けーき こーひー こうちゃ ようい おお
 やYMFCメンバー手作りの春巻き、差し入れのケーキ、コーヒー、紅茶などが用意され、多く
 ひと かんたん たの とき す せいどうい ぐちよこ かざ おお
 の人が歓談し楽しいひと時を過ごしました。また聖堂入り口横に飾られた大きな
 くりすますつりー めん ばー ゆうじん おく らいと かざ つ
 クリスマスツリーは、YMFCメンバーの友人から贈られたものです。ライトや飾り付けもきれ
 いただ つぎ くりすます みな いわ
 いにして頂きました。ありがとうございます。次のクリスマスも皆でひとつになってお祝い
 おも
 できればよいと思いました。





On behalf of YMFC (Yokosuka Mikasa Filipino Community) we would like to thank the Japanese community for all the love and support. It was a wonderful experience to sing together the song entitled "I believe." We also enjoyed the Christmas party where everyone was smiling and very accommodating. The International Mass (Christmas Eve) has also a good impact both for foreigners and Japanese. Wherein the spirit of Christmas has been felt. Our special thanks to our parish priest Father Hamasaki who has been there always. Thank you for all the guidance and support and for having a big heart for all the foreigners. OUR HEARTFELT THANKS TO EVERYONE. Minna san, korekara mo yoroshiku onegaitashimasu. Shiraishi Karen (YMFC)

よこすかみかさふりびんじんこみゆにてい だいひょう にほんじんこみゆにてい みなさま
 YMFC(横須賀三笠フィリピン人コミュニティ)を代表して、日本人コミュニティの皆様
 あい さぽーと かんしゃ きよく いっしょ うた すばら
 愛とサポートに感謝いたします。「I believe」という曲と一緒に歌えたのは素晴らしい
 けいけん くりすます ばーていー みなさんえがお しんせつ たの がいこくせき
 経験でした。クリスマスパーティーも皆さん笑顔でとても親切で楽しかったです。「外国籍
 ひとびと ささ みさ おこな くりすます みさ がいこくじん にほんじん
 の人々と捧げるミサ」として行われたクリスマスのミサも外国人にとっても日本人にとつて
 よ いえいきょう あた くりすます ふんいき かん くらかん
 も良い影響を与えます。クリスマスの雰囲気を感じられる空間です。いつもそこにいてく
 しゅにんしさい はまさきしんぶ ころろ かんしゃ がいこくじん たい おお
 ださった主任司祭の浜崎神父に心より感謝いたします。すべての外国人に対する大きな
 ころろ しどう しえん かんしゃ みなさま ころろ かんしゃもう あ
 心と、ご指導とご支援に感謝いたします。皆様に心より感謝申し上げます。

しらいしかれん
 白石カレン(YMFC)

福音宣 教部会からのお知らせ
責任をもって交わりのうちに歩もう

教 皇 フランシスコの呼びかけ

教 皇は使徒的勧告「ラウダーテ・デウム」で「責任をもって交わりのうちに歩もう」と呼びかけています。いろいろな意味を込めての呼びかけなのですが、全体的な文脈から考えると、われわれにはどうしても「あなたの街の街づくりと地球の課題に責任をもって参加しよう」と聞こえます。年頭にあたり、教 皇の呼びかけに応えるためにわれわれは2024年の横須賀でなにかできるか、考 えてみました。

横須賀の街づくりを提案し、ともに参加しよう！

三笠教会の三笠教会による三笠教会のための活動をやっていたのではなにも始まらない地点に来てしまったのだなと思います。キリスト教 会が自分の街の街づくりを提案し、それに参加するということは意外なことのように思えるかもしれません。しかしナザレの人イエスの福音と、第二バチカン公会議以降の経過とそれをうけた教 皇 フランシスコの呼びかけをすなおに聴くなら、21世紀のわれわれにとって自分の街の街づくりに責任をもって参加することになんの不思議もないと気づくと思います。

米海軍第七艦隊の基地にして米原子力空母のアメリカ以外の地点における唯一の母港となっている横須賀は、どこをどう考 えてみても、沖縄ほどではないにしても、日本本土ではきわめて特殊な街であると言わざるを得ません。

年間テーマ「横須賀の地政学的課題はなにか？」を通じて「人口減少社会、脱炭素社会における平和産業港湾都市横須賀の街づくり」を提案し、すでにこの課題に取り組んでいる市民の動きに参加したいと考 えます。

ねん よこすか かだい さんか
2024年の横須賀の課題に参加しよう

ねん よこすか しょうち つぎ よてい
2024年の横須賀ではわれわれが承知しているだけでも次のようなことが予定されています。

べいくわぼこうたい よてい べいくわぼこうたいはんたい きゃんぱーん
米空母交代が予定されており、それにもなって「米空母交代反対キャンペーン」が
けいかく
計画されています。

ねん せんごよこすか まち じゅうよう いみ きゅうぐんこうしてんかんほう
2025年は戦後横須賀の街づくりに重要な意味をもった「旧軍港市転換法」
ぐんてんほう しこう しゅうねん ことし きねんしょせき へんしゅうはっこう
(軍転法)の施行75周年にあたり、今年はそのための「記念書籍」の編集発行が
けいかく
計画されています。

よこすか かりよくはつでんしょ かどうさ と そしょう とうきょうこうとうさいばんしよこうそしんはんけつ がつ にち
横須賀火力発電所の稼働差し止め訴訟、東京高等裁判所控訴審判決が2月22日に
よてい
予定されています。

うんどう こんご せきん さんか あゆ
これらの運動に今後なんらかのかたちで、責任をもって参加し、ともに歩んできたい
かんが
と考えます。

せきん まじ あゆ まな
「責任をもって交わりのうちに歩む」ために学びなおそう！

せきん まじ あゆ まな つづ ひつよう
「責任をもって交わりのうちに歩む」ためにも、なお「学びなおし」は続ける必要が
たいわ きょうつう たいわ ば まな
あります。また、対話をすすめるための「共通の対話の場」をつくるためにも、「学び
わ ひろ かんが
なおし」の輪をさらに広げたいと考えます。

はな かた
「話せばわかる。」語りあおう！

さくねん せいかわ かわかい つう かた だ ひと
昨年の成果のひとつは、「茶話会」などを通じて「語り出す人」がふえたことでし
しみんぐるーが さわかい こえ よ ま
た。市民グループからも「茶話会はよかった」という声が寄せられました。「なにかが間
あ かん ひと しん はな
に合っていない」と感じている人はかならずいると信じています。「話せばわかる」で
かた み おも こんご かた こうりゅう ば
す。語りあえばなにかが見えてくると思いたい。今後とも「語りあい」と「交流の場」
つく おも
を作りたいと思います。

で きょうかい
「出かける教会」になろう！

きょうこう ふうらんしすこ し で きょうかい
教皇フランシスコのもうひとつのことは、だれでも知っている「出かける教会」
です。われわれも「出かける」という「新しい体験」をやってみましょう。出かけれ
ば、かならず人と知りあいます。知りあえば、かならず「義理人情」が生まれます。

ぎりにんじょう ひと うご
「義理人情」でなければ人は動きません。

で し ぎりにんじょう つく じぶん まち さんか
出かけて、知りあって、「義理人情」を作りましょう。自分の街づくりに参加しない
かぎ せきにな は せいき よこすか まち さんか かぎ きぼう み
限り、責任は果たせません。21世紀の横須賀の街づくりに参加しない限り、希望は見え
ません。

がつ いべんと
2月のイベント

がつ にち ど べいくうぼ ねん よこすか いま たいけん
2月10日（土）13:00 米空母50年の横須賀の今をあなたはどうか体験していますか？

だい かい きち まちよこすか かんが つど
第3回 基地の街ヨコスカを考える集い

がくしゅうたいけん こうかんかい
…… 学習体験の交換会 ……

いま まち すけじゅーる
今なにがおきているのか …… 街のスケジュール

がつ にち きん ず し かいがんれんぞくしょうがいじけんそんがいばいしょうさいばん よこはまちほうさいばんしよ
2月 9日（金） 逗子海岸連続傷害事件損害賠償裁判（横浜地方裁判所）

がつ にち にち ふえあ さぽーとせんたー
2月10～11日（日） のたろんフェア（サポートセンター）

がつ にち にち こうそしんさいばん む がくしゅうかい はんたべんごし さんぎょうこうりゅう
2月11日（日）13:30 控訴審裁判に向けた学習会・半田弁護士（産業交流
プラザ）

がつ にち もく よこすかかりよくはつでんしよしょうこうそしんはんけつ とうきょうこうとうさいばんしよ
2月22日（木） 横須賀火力発電所訴訟控訴審判決（東京高等裁判所）

め おたかお
(名生尚雄)